

■ 計画推進を支える行財政運営と推進体制の確保

本計画を実行し、目標を達成するためには、将来にわたって安定した持続可能な行財政運営が必要です。

また、日々進化するデジタル技術の有効活用や行政改革、事業を実施する職員の人材育成などによる推進体制を整えながら、計画を推進します。

1 持続可能な行財政運営の推進

人口減少によって将来的な市税の大幅な増収を見込めない状況にある一方で、人件費や物件費などの増加により、歳出の硬直化が進んでいます。また、公共施設やインフラ資産の老朽化が進み、すべての施設を維持することが困難な時代を迎えています。

より効率的・効果的な財政運営を図るとともに、企業誘致やふるさと納税などにより、さらなる歳入の増加を図ります。また、公共施設などの長寿命化とともに、将来に大きな負担を残さないよう、利用状況に応じた統廃合や利活用を検討するなど、将来に渡って持続可能な行財政運営を進めます。

2 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

より質の高い行政サービスを効果的に提供するため、行政手続きのオンライン化やAIなどを活用した業務の自動化など、デジタル技術を活用したDXを推進します。

また、DXによって防災や子育て、福祉などの市民サービスの利便性を高めるとともに、職員にとっても働きやすく業務に注力できるような環境整備を進めます。

3 行政改革・人材育成の推進

限られた人員や財源の中で最大の効果を生み出し、業務の効率化や市民ニーズに応える行政サービスを実現するため、小千谷市行政改革大綱を策定し、前例にとらわれない柔軟な行政運営に取り組みます。

また、人材育成基本方針を策定し、求められる職員像やスキルを持つ人材を育成するとともに、職員の「ワーク・ライフ・バランス」を重視した働き方改革を推進し、仕事と家庭生活を両立できる職場環境づくりに取り組みます。

4 広域連携の推進

多様化する市民ニーズや地域課題に対応するためには、近隣自治体や定住自立圏、新潟県だけでなく、国や関係機関、杉並区などの交流自治体との広域的な連携によって課題解決に取り組む必要があります。また、産業や観光などの分野においては国際的なつ

ながりを活かすことも重要であり、当市の魅力をさらに磨いて発信することが求められています。

5 計画の進行管理

毎年度、計画の進捗状況を検証し、KGIなどの成果指標の達成度を評価・検証し、市民に公表します。この検証結果をもとに、効果が低い事業は内容を見直し、効果が高い事業には重点的に予算を配分するなど、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）を徹底し、計画の内容や目標を見直し続けることで、常に社会情勢の変化に対応した実効性の高い計画運営を行います。

みんなで描く！10年後のおぢや

計画の策定にあたり、子育てや商店街の活性化、働く女性をテーマに5回、市内中学校3年生を対象に5回、市民団体との懇談を6回、計16回の市政懇談会を開催し、総勢472人の方にご参加いただきました。

その中で、「あなたは10年後、小千谷をどのようなまちにしたいですか？」という問いを投げかけ、10年後のおぢやへの思いを伺いました。

中学生の声

10年後、小千谷を
〇〇〇なまちにしたい

くらし

- ・若い人も楽しいまち
- ・自分らしく暮らせるまち
- ・子育てができるまち
- ・学費や生活費の助成が手厚いまち
- ・高齢者から小さい子まで元気なまち
- ・どの世代でも安心して生活できるまち
- ・暮らしに不便がないまち
- ・明るくて誰もが暮らしやすいまち
- ・みんなが笑顔で過ごせるまち
- ・多くの人が暮らしやすそうと思うまち
- ・施設や物流が発展しているまち
- ・どこに住んでも便利なまち
- ・安心して暮らせるまち
- ・収入面や住まいに不便がないまち

にぎわい

- ・若者の活気あふれるまち
- ・活気のあるまち
- ・イベントが多いまち
- ・どの世代の人たちも楽しめるまち
- ・楽しそうって思われるまち
- ・大人、子どもも楽しめるまち
- ・みんな仲がいいまち
- ・人の交流が多いまち
- ・友だちが多いまち
- ・出かけたくなるまち
- ・市外の人から選ばれるまち
- ・帰ってきたいまち
- ・商店がさかんなまち
- ・いつでも行列のできるお店があるまち
- ・観光客がいっぱいなまち
- ・一度は訪れたいまち

はたらく

- ・働きやすいまち
- ・いろんな企業が集まっているまち
- ・就職のサポートが強いまち
- ・いろんな働き方（リモート、出勤時間など）があるまち
- ・いろんな職業があるまち
- ・起業できるまち（仲間とつながれる、知識を身につけるために）
- ・所得が高いまち
- ・就職できるところが多いまち

自然・文化

- ・自然豊かなまち
- ・環境がきれいなまち
- ・緑と一緒に暮らせるまち
- ・伝統文化がずっと続くまち
- ・花火などで他県から知られるまち
- ・ごはんがおいしいまち
- ・スポーツが盛んなまち
- ・「ふるさと」として愛されるまち
- ・ワクワクできるまち
- ・明るく楽しいまち

その他

- ・みんなが快適に過ごせるまち
- ・優しいまち
- ・笑顔があふれるまち
- ・友だちが多いまち
- ・全員が幸せなまち
- ・自給自足が活発なまち
- ・流行りにのっているまち
- ・全国から注目されるまち
- ・好きな時に好きな場所に行けて、好きなことが好きだけできるようなまち

その実現のために、
中学生の今から
できること

人とつながる

- ・様々な年代の人達と小千谷について話してみる
- ・コミュニケーションを大切にする
- ・地域の人に挨拶や他校の人と関わって仲を深める
- ・地域のひとと積極的に関わる
- ・大学生と交流する

まちに参加する

- ・ボランティア活動に参加する
- ・小千谷の行事やイベントに積極的に参加する
- ・祭りや行事にたくさん参加する
- ・小千谷のお店や施設を積極的に利用する
- ・小千谷のいろんなところに行ってみる

まちを大切にする

- ・小千谷のいいところを見つける
- ・ゴミ拾いをして、小千谷の自然を守る
- ・マナーを守って生活する
- ・誰に対しても笑顔で明るく接する
- ・思いやりを心がける

まちの魅力を広げる

- ・SNSで小千谷の食べ物をPRする
- ・市外の友達に小千谷の魅力を広める

ここでは、市民のみなさんから寄せられた「10年後の小千谷の姿」に関する言葉の中で、多く見られた言葉をワードクラウド（言葉の出現頻度に応じて大きさをえて表した図）として紹介しています。

あわせて、寄せられた意見の一部と、その実現に向けた「わたしの一歩」を掲載しています。

